

テレビで初めて見た無観客の大相撲は何とも不思議な感じでした。ファイト満々で塩を大手でつかんで大仰に土俵に撒いて、自分を鼓舞するのでしょうか。身体をたたく音が小気味よく聞こえ、時間一杯で腰を落とします、そこで観客は轟轟の力士の名を叫び合ひ、この声で相手を倒す迫力は最高潮に高まって巨体をぶつけ合います。ところが、観客の声でいつもは聞こえない行司の間断ない「ハッキョヨイ」の声だけが新鮮に響いていました。

プロ野球のオープン戦も無観客開催でしたが、いつもは観客が大騒ぎで喜ぶホームランを打つ外国人選手は手持ち無沙汰ながらTVカメラを意識して無人の観客席に向かって手を振り飛び跳ねていました。いつもなら大歓声の中で両手を挙げながら忘れる姿がそこにあるはずなのです。初めての事ながらどのような状況でもショーマンです。さすがプロですね。

そして、選抜高校野球も中止になりました。純粋な球児たちの無念さには涙が出ます。実は、私もメンバーである「横浜☆男声合唱団」に齋藤哲男さんがいたのですが、彼は私の母校横浜商業高校（Y校）の先輩です。兄弟2名野球部員で有名だったのですが、太平洋戦争が始まって、この時も中止になりました。県で優勝し甲子園に向かうばかりでした。その後、主将の兄は25歳で戦死、他の選手も皆亡くなり、彼は男声合唱団で私たちとコーラスを楽しんでいました。今は東海大相模とか慶応高校、横浜高校、桐蔭など、甲子園行きは私立が全盛ですが、当時はY校野球部のように公立が主流でした。その中でもY校は春に9回、夏は7回と甲子園に顔を出しました。勝ち試合ごとに森鷗外作詞の校歌がラジオから響くのは誇りでした。全国制覇はありませんでしたが、準優勝を2回とっていました。長い歴史の中で中止は2回でした。

前述の1941年の戦争と1918年の米騒動だと言います。米価高騰で日本国中大騒ぎになった事があったのです。当時私の母は結婚前で実家が米問屋、米蔵に火を付けられたり、暴動で盗まれたりその恐ろしさをよく話しておりました。さて、すべてを諦めていた前述の齋藤さんですが、80歳の時、県高校野球部の監督達の推薦である時、中止になった県代表のY校の悲劇の選手がいると言うことを知り、第87回県大会の決勝戦の始球式をお願いしようということになり、失望していた彼は勧められてマウンドに立って溜飲を下げたのです。「上手くキャッチャーミットまで届くといいのだが」と彼は言っていました。テレビでその姿を見て仲間と皆で「よかったな」と褒め合いました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため  
★5/5(祝)「こどもの日コンサート」は中止になりました。  
★4/13(月)の「ゴールデンウェーブ」は6/9(火)に延期になりました。

「横浜シネマパラダイス」  
～懐かしいヨコハマの風景と流行の映画音楽～  
ゲスト出演：赤い靴記念文化事業団 松永春  
5月26日(火) 横浜みなとみらい大ホール  
14:20 会場 15:00 開演  
全席指定 S席¥4,500 A席¥3,500 S席ペア券¥8,000  
学生・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方 S席・A席各5%割引



かながわミュージカルアワード2020 表彰式/紅葉坂ホール

を軍に止められたにもかかわらず使用し続け、英語の時間もぎりぎりまで続けたのもこの学校でした。明治の頃から道に迷った外国人には「会話で困ったらYボーイに聞け」と言う言葉に私たちは誇りを持ってきたのです。戦時中でも野球部は健在でしたが英語は使えず、ストライクは(よし一つ)ボールは(だめ)ヒットは(正打)三振は(それまで)と違うゲームをしているような錯覚を起こしながら日本人は野球を捨てることは出来なかったのです。私が16歳の時、内地では練習機がない理由で、160名のパイロットの卵たちを指揮して(当時は指揮官も不足していました)那須野航空隊から旧朝鮮の忠清南道大田の飛行場に転属になりました。しかし、ここでも練習用の飛行機はなく、終始、地上訓練でした。ある日、特別幹部候補生(年令は上)のグループと野球の試合の話が出ました。私は外野で参加することになりましたが、練習で見たのは相手の投手のスピードでした。噂をしていた巨人軍の青田選手でした。当時は選手も兵隊になるのは当然でした。その球に当てるだけでも大変でしたが、私どもの投手が内野フライで倒れ、私は一塁ゴロでしたが一塁がエラーをしてセーフでした。後は三振か内野ゴロが多く7回で敗れたのです。帰りに青田選手と握手したとき「塁を踏んだのは君だけじゃないか」と言われました。「でもエラーですから」と言うのと「エラーをさせたのがたいしたものだ」と言われ口に褒められたと自慢話が出来たのです。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。かながわミュージカルアワードを頂いた横浜市民こどもミュージカルは表彰とともに3月15日に紅葉坂ホールでの公演予定が中止になり、表彰式だけを挙行するというので25日先生方と私でトロフィーを頂きに行ってきました。また、横浜みなとみらいホールの「こどもの日コンサート」、今年は赤い靴ジュニアコーラスとダンスにこどもミュージカルが出演予定でしたが、これも中止になりました。現在、通常のレッスンも外出自粛要請により毎週の状況にて判断してのご連絡が続いております。一人一人の手洗い・マスク着用・三密条件を避けることが大切です。そして夢は見続けましょう。

2020・3・31 団長 松永春

今後のスケジュール

5/26(火) 横浜シネマパラダイス 横浜みなとみらい大ホール 懐かしいヨコハマの風景と流行の映画音楽 15時開演 新日本フィルハーモニー ナビゲーター 池辺晋一朗(作曲家) ドラマチック 中村高寛映画監督 ゲスト 松永春 赤い靴団長
6/9(火)～11(木) 国際シニア合唱祭 「ゴールデンウェーブ in 横浜」 横浜みなとみらい大ホール 出演:9日 ザ・シワクチャーズ横浜
6/14(日)「中区ダンスフェスティバル 2020」 関内大ホール/入場料 600円 第1部 13時～、第2部 18時～
6/28(日) 赤い靴ジュニアコーラス 第33期定期演奏会 杉田劇場
8/1(土)・8/2(日) 横浜市民こども ミュージカル 関内小ホール
8/19(水)「ヘンゼルとグレーテル」 神奈川県民ホール・小ホール 出演:赤い靴ジュニアコーラス
9/13(日) 第28回「中区合唱祭」 横浜市開港記念会館・講堂 出演:あかいつテンダーフット&赤い靴 ジュニアコーラス青隊 横浜☆男声合唱団
10/17(土)・10/18(日) オペラ「トゥーランドット」 神奈川県民ホール・大ホール 出演:赤い靴ジュニアコーラス